



2019年2月14日

各位

会社名 株式会社日立物流  
代表者名 執行役社長 中谷 康夫  
(コード番号 9086 東証第1部)  
問合せ先 経営戦略本部 広報部  
部長 高岡 勲  
(TEL : 03 - 6263 - 2803)

**(訂正)「平成29年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)」の一部訂正について**

当社は、2017年1月31日に公表しました「平成29年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)」の記載内容に一部訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

**1. 訂正理由**

訂正の理由につきましては、本日付「有価証券報告書等及び決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますので、ご参照ください。

**2. 訂正箇所**

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後の全文を添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成29年1月31日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社日立物流  
コード番号 9086 URL <http://www.hitachi-transportssystem.com>  
代表者 (役職名) 執行役社長 (氏名) 中谷 康夫  
問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略本部 広報部長 (氏名) 高岡 勲 (TEL) 03-5634-0357  
四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	495,547	△3.5	22,739	12.5	26,187	32.3	17,954	42.7	16,786	46.6	16,740	53.0
28年3月期第3四半期	513,595	1.5	20,212	27.1	19,798	23.6	12,582	34.2	11,451	38.5	10,938	△32.6

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	150.48	—
28年3月期第3四半期	102.65	—

【重要】「営業利益」には、当社が連結経営成績に関する指標として用いている「調整後営業利益」を記載しております。なお、平成29年3月期第3四半期の営業利益は24,096百万円です。(「調整後営業利益」は、売上収益から、売上原価ならびに販売費及び一般管理費の額を減算して算出した指標です。)

本ページ以外では、「税引前利益」を「税引前四半期利益」、「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を「親会社株主に帰属する四半期利益」と表示しております。「基本的1株当たり四半期利益」「希薄化後1株当たり四半期利益」は、「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を基に算定しており、本ページ以外では、「基本的1株当たり親会社株主に帰属する四半期利益」「希薄化後1株当たり親会社株主に帰属する四半期利益」と表示しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	540,970	192,089	188,807	34.9
28年3月期	464,399	178,552	175,543	37.8

本ページ以外では、「親会社の所有者に帰属する持分」を「親会社株主持分」、「親会社所有者帰属持分比率」を「親会社株主持分比率」と表示しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
29年3月期	—	17.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	670,000	△1.5	29,000	2.4	29,500	9.6	20,200	30.3	18,500	32.0	165.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

【重要】「営業利益」には、当社が連結経営成績に関する指標として用いている「調整後営業利益」を記載しております。

本ページ以外では、「親会社の所有者に帰属する当期利益」を「親会社株主に帰属する当期利益」と表示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	111,776,714株	28年3月期	111,776,714株
29年3月期3Q	226,648株	28年3月期	226,306株
29年3月期3Q	111,550,225株	28年3月期3Q	111,550,552株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく要約四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

- ・四半期決算補足説明資料は、決算発表後、速やかに当社Webサイトに掲載する予定です。
- ・当社は、平成29年1月31日にアナリスト・機関投資家向けの電話会議を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	5
3. 要約四半期連結財務諸表	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(表示方法の変更)	12
(セグメント情報等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(以下、「当第3四半期累計」)における連結業績は次のとおりです。

(単位:百万円)

区分	前第3四半期累計	当第3四半期累計	前年同期比
売上収益	513,595	495,547	96%
調整後営業利益	20,212	22,739	113%
受取利息及び支払利息調整後 税引前四半期利益(EBIT)	20,425	27,076	133%
親会社株主に帰属する四半期利益	11,451	16,786	147%

売上収益は4,955億47百万円(前年同期比4%減)、調整後営業利益は227億39百万円(前年同期比13%増)、受取利息及び支払利息調整後税引前四半期利益(EBIT)は270億76百万円(前年同期比33%増)、親会社株主に帰属する四半期利益は167億86百万円(前年同期比47%増)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

## 【国内物流】

(単位:百万円)

区分	前第3四半期累計	当第3四半期累計	前年同期比
売上収益	302,738	308,003	102%
セグメント利益(調整後営業利益)※	14,407	16,821	117%

当セグメントの売上収益は、顧客の外部環境変化による取り扱い物量の減少はあったものの、流通小売、飲食関連等における新規案件の稼働や、前年度に立ち上げた案件の本格稼働等により、前年同期に比べ2%増加し、3,080億3百万円となりました。

セグメント利益は、増収影響や、作業生産性の向上等により、前年同期に比べ17%増加し、168億21百万円となりました。

## 【国際物流】

(単位:百万円)

区分	前第3四半期累計	当第3四半期累計	前年同期比
売上収益	194,927	171,556	88%
セグメント利益(調整後営業利益)※	4,217	4,485	106%

当セグメントの売上収益は、海外における日用品、自動車関連等の新規大型案件の稼働による増収寄与はありましたが、円高進行による為替影響を受け、前年同期に比べ12%減少し、1,715億56百万円となりました。

セグメント利益は、為替影響はあったものの、欧州におけるインターモーダル事業が堅調に推移したことや、事業全般の構造改革効果等により、前年同期に比べ6%増加し、44億85百万円となりました。

## 【その他(物流周辺事業等)】

(単位:百万円)

区分	前第3四半期累計	当第3四半期累計	前年同期比
売上収益	15,930	15,988	100%
セグメント利益(調整後営業利益)※	1,588	1,433	90%

当セグメントの売上収益は、前年同期並みの、159億88百万円となりました。

セグメント利益は、前年同期に比べ10%減少し、14億33百万円となりました。

※第1四半期より、セグメント利益を「営業利益」から「調整後営業利益」へ変更しております。

なお、前第3四半期累計のセグメント情報は、当該変更を反映しております。(詳細は12ページをご覧ください。)

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び資本の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産の部合計は、前連結会計年度末に比べ765億71百万円増加し、5,409億70百万円となりました。流動資産は、その他の金融資産が41億72百万円減少したものの、売上債権が89億85百万円、その他の流動資産が15億75百万円それぞれ増加したことなどにより、64億57百万円増加いたしました。非流動資産は、無形資産が21億23百万円減少したものの、持分法で会計処理されている投資が696億14百万円、有形固定資産が26億75百万円それぞれ増加したことなどにより、701億14百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末の負債の部合計は、前連結会計年度末に比べ630億34百万円増加し、3,488億81百万円となりました。流動負債は、その他の金融負債が122億43百万円増加したものの、償還期長期債務が309億1百万円、未払法人所得税が22億56百万円それぞれ減少したことなどにより、214億6百万円減少いたしました。非流動負債は、その他の金融負債が166億6百万円減少したものの、長期債務が1,005億49百万円増加したことなどにより、844億40百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末の資本の部合計は、前連結会計年度末に比べ135億37百万円増加し、1,920億89百万円となり、また親会社株主持分比率は前連結会計年度末の37.8%から34.9%となりました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」）の残高は、前連結会計年度末に比べ2億54百万円減少し、448億92百万円となりました。

当第3四半期累計における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、107億8百万円の収入となり、前第3四半期累計に比べ68億41百万円減少しました。この主な要因は、四半期利益179億54百万円、減価償却費及び無形資産償却費139億94百万円、法人所得税費用82億33百万円等による資金の増加と、法人所得税の支払108億94百万円、売上債権の増減92億61百万円、その他の資産及びその他の負債の増減60億46百万円、持分法による投資利益30億35百万円等により資金が減少したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、684億92百万円の支出となり、前第3四半期累計に比べ555億90百万円減少しました。この主な要因は、有形固定資産及び無形資産の売却43億93百万円、預け金の払戻35億円等による資金の増加と、持分法で会計処理されている投資の取得668億43百万円、有形固定資産及び無形資産の取得104億68百万円により資金が減少したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、579億31百万円の収入となり、前第3四半期累計に比べ616億27百万円増加しました。この主な要因は、長期借入債務の返済549億60百万円、リース債務の返済36億12百万円、配当金の支払35億69百万円、非支配持分からの子会社持分取得20億85百万円等による資金の減少と、長期借入債務による調達1,228億28百万円により資金が増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く環境は、世界経済における成長鈍化懸念や物流業界での競争激化など、引き続き厳しい状況にあり、先行きへの不透明感もますます高まっております。

このような環境のもと、当社グループは、中期経営計画の基本戦略である「3PL事業の徹底強化とシェア拡大」「フォワーディング事業の拡大」「重量・機工事業の強化」を確実に遂行するとともに、新技術の展開加速や、新たな構造改革を推進し、当社グループの持続的な成長の実現と企業価値の向上をめざしております。

なお、2016年10月27日に公表した通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期累計の連結業績や直近の動向を踏まえ、次のとおり修正しております。

## [通期の連結業績予想]

	売上収益	調整後 営業利益	税引前 当期利益	当期利益	親会社株主に 帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
前回発表予想 (A) (2016年10月27日公表)	百万円 680,000	百万円 28,500	百万円 29,500	百万円 20,200	百万円 18,500	円 銭 165.84
今回修正予想 (B)	670,000	29,000	29,500	20,200	18,500	165.84
増減額 (B-A)	△10,000	500	0	0	0	—
増減率 ( % )	△1.5	1.8	0.0	0.0	0.0	—
(参考) 前期実績 (2016年3月期)	680,354	28,320	26,910	15,502	14,011	125.60

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

本要約四半期連結財務諸表において適用する主要な会計方針は、前連結会計年度において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第3四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積平均年次実効税率を基に算定しております。



## 3. 要約四半期連結財務諸表

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

区分	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2016年12月31日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び現金同等物	45,146	44,892
売上債権	118,908	127,893
棚卸資産	1,114	1,437
その他の金融資産	10,352	6,180
その他の流動資産	9,330	10,905
流動資産合計	184,850	191,307
非流動資産		
持分法で会計処理されている投資	1,179	70,793
有形固定資産	177,153	179,828
のれん	29,542	29,587
無形資産	39,038	36,915
繰延税金資産	7,900	7,675
その他の金融資産	16,504	16,851
その他の非流動資産	8,233	8,014
非流動資産合計	279,549	349,663
資産の部合計	464,399	540,970

(単位：百万円)

区分	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2016年12月31日)
(負債の部)		
流動負債		
買入債務	48,892	49,472
短期借入金	12,110	11,336
償還期長期債務	36,025	5,124
未払法人所得税	6,512	4,256
その他の金融負債	<u>31,199</u>	<u>43,442</u>
その他の流動負債	27,203	26,905
流動負債合計	<u>161,941</u>	<u>140,535</u>
非流動負債		
長期債務	49,666	150,215
退職給付に係る負債	31,254	31,505
繰延税金負債	12,542	12,443
その他の金融負債	<u>28,361</u>	<u>11,755</u>
その他の非流動負債	2,083	2,428
非流動負債合計	<u>123,906</u>	<u>208,346</u>
負債の部合計	<u>285,847</u>	<u>348,881</u>
(資本の部)		
親会社株主持分		
資本金	16,803	16,803
利益剰余金	<u>157,362</u>	<u>171,726</u>
その他の包括利益累計額	<u>1,558</u>	<u>458</u>
自己株式	△180	△180
親会社株主持分合計	<u>175,543</u>	<u>188,807</u>
非支配持分	<u>3,009</u>	<u>3,282</u>
資本の部合計	<u>178,552</u>	<u>192,089</u>
負債・資本の部合計	464,399	540,970

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
売上収益	513,595	495,547
売上原価	△460,879	△439,232
売上総利益	52,716	56,315
販売費及び一般管理費	△32,504	△33,576
調整後営業利益	20,212	22,739
その他の収益	1,573	2,384
その他の費用	△1,070	△1,027
営業利益	20,715	24,096
金融収益	89	97
金融費用	△624	△152
持分法による投資利益	245	3,035
受取利息及び支払利息調整後 税引前四半期利益	20,425	27,076
受取利息	566	550
支払利息	△1,193	△1,439
税引前四半期利益	19,798	26,187
法人所得税費用	△7,216	△8,233
四半期利益	12,582	17,954
四半期利益の帰属		
親会社株主持分	11,451	16,786
非支配持分	1,131	1,168

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
1株当たり親会社株主に帰属する四半期利益		
基本	102.65円	150.48円
希薄化後	－円	－円

要約四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
四半期利益	12,582	17,954
その他の包括利益		
純損益に組み替えられない項目		
その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動額	245	△206
持分法のその他の包括利益	1	9
純損益に組み替えられない項目合計	246	△197
純損益に組み替えられる可能性がある項目		
在外営業活動体の換算差額	△1,876	△944
キャッシュ・フロー・ヘッジの 公正価値の純変動額	21	36
持分法のその他の包括利益	△35	△109
純損益に組み替えられる可能性がある 項目合計	△1,890	△1,017
その他の包括利益合計	△1,644	△1,214
四半期包括利益	10,938	16,740
四半期包括利益の帰属		
親会社株主持分	10,134	15,930
非支配持分	804	810

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位:百万円)

前第3四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)							
					親会社 株主持分 合計	非支配持分	資本の部 合計
	資本金	利益剰余金	その他の 包括利益 累計額	自己株式			
期首残高	16,803	149,335	7,761	△179	173,720	3,006	176,726
変動額							
四半期利益		11,451			11,451	1,131	12,582
その他の包括利益			△1,317		△1,317	△327	△1,644
非支配持分との取引等		△225	△54		△279	294	15
配当金		△3,235			△3,235	△60	△3,295
自己株式の取得及び売却				△0	△0		△0
非支配株主に係る売建プット・ オプション負債の変動等		779	59		838	△1,004	△166
変動額合計	—	8,770	△1,312	△0	7,458	34	7,492
期末残高	16,803	158,105	6,449	△179	181,178	3,040	184,218

(単位:百万円)

当第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)							
					親会社 株主持分 合計	非支配持分	資本の部 合計
	資本金	利益剰余金	その他の 包括利益 累計額	自己株式			
期首残高	16,803	157,362	1,558	△180	175,543	3,009	178,552
変動額							
四半期利益		16,786			16,786	1,168	17,954
その他の包括利益			△856		△856	△358	△1,214
配当金		△3,569			△3,569	△77	△3,646
自己株式の取得及び売却				△0	△0		△0
非支配株主に係る売建プット・ オプション負債の変動等		1,147	△244		903	△460	443
変動額合計	—	14,364	△1,100	△0	13,264	273	13,537
期末残高	16,803	171,726	458	△180	188,807	3,282	192,089

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	12,582	17,954
四半期利益から営業活動による キャッシュ・フローへの調整		
減価償却費及び無形資産償却費	14,386	13,994
減損損失の戻入れ	—	△461
持分法による投資利益	△245	△3,035
法人所得税費用	7,216	8,233
退職給付に係る負債の増減	704	260
受取利息及び受取配当金	△647	△635
支払利息	1,193	1,439
固定資産売却損益	△512	△1,544
売上債権の増減	146	△9,261
棚卸資産の増減	△443	△315
買入債務の増減	△6,111	843
その他の資産及びその他の負債の増減	△2,385	△6,046
その他	255	679
小計	26,139	22,105
利息及び配当金の受取	799	846
利息の支払	△1,138	△1,349
法人所得税の支払	△8,251	△10,894
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,549	10,708
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得	△14,673	△10,468
有形固定資産及び無形資産の売却	2,394	4,393
預け金の払戻	—	3,500
持分法で会計処理されている投資の取得	—	△66,843
その他	△623	926
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,902	△68,492
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減	3,980	△484
長期借入債務による調達	—	122,828
長期借入債務の返済	△1,011	△54,960
リース債務の返済	△3,047	△3,612
非支配持分からの子会社持分取得	△57	△2,085
配当金の支払	△3,235	△3,569
非支配持分株主への配当金の支払	△60	△86
その他	△266	△101
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,696	57,931
現金及び現金同等物に係る換算差額	△352	△401
現金及び現金同等物の増減	599	△254
現金及び現金同等物の期首残高	34,544	45,146
現金及び現金同等物の期末残高	35,143	44,892

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

前第3四半期連結累計期間において、「営業利益」(20,715百万円)は「売上総利益」(52,716百万円)から「販売費及び一般管理費」(32,504百万円)、「その他の収益」(1,573百万円)、「その他の費用」(1,070百万円)を控除した金額として表示しておりましたが、第1四半期連結累計期間より「売上総利益」から「販売費及び一般管理費」を控除した「調整後営業利益」と「税引前四半期利益」から受取利息の額を減算し、支払利息の額を加算して算出した「受取利息及び支払利息調整後税引前四半期利益」を表示しております。

この変更は、経営者が事業再編等の損益や構造改革費用等の損益を含まない事業活動の成果を反映した「調整後営業利益」が目標達成に向けた進捗管理及び成果を把握することに適していると判断し、また資金調達に関する金利収支を除いた「受取利息及び支払利息調整後税引前四半期利益」が、他社とのアライアンスの成果を反映しており、当社グループの状況をわかり易く表した指標であると判断したためであります。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	要約四半期 連結財務 諸表計上額
	国内物流	国際物流	計				
売上収益							
外部顧客への売上収益	302,738	194,927	497,665	15,930	513,595	—	513,595
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	—	—	—	8,156	8,156	△8,156	—
計	302,738	194,927	497,665	24,086	521,751	△8,156	513,595
セグメント利益	14,407	4,217	18,624	1,588	20,212	—	20,212
その他の収益							1,573
その他の費用							△1,070
金融収益							89
金融費用							△624
持分法による投資利益							245
受取利息							566
支払利息							△1,193
税引前四半期利益							19,798

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、情報システム開発、自動車販売・整備、旅行代理店業等を含んでおります。

2 親会社の管理部門に係る費用等の事業セグメントに帰属しない全社費用は、合理的な基準に基づき各事業セグメントへ配分しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	要約四半期 連結財務 諸表計上額
	国内物流	国際物流	計				
売上収益							
外部顧客への売上収益	308,003	171,556	479,559	15,988	495,547	—	495,547
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	—	—	—	7,561	7,561	△7,561	—
計	308,003	171,556	479,559	23,549	503,108	△7,561	495,547
セグメント利益	16,821	4,485	21,306	1,433	22,739	—	22,739
その他の収益							2,384
その他の費用							△1,027
金融収益							97
金融費用							△152
持分法による投資利益							3,035
受取利息							550
支払利息							△1,439
税引前四半期利益							26,187

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、情報システム開発、自動車販売・整備、旅行代理店業等を含んでおります。

2 親会社の管理部門に係る費用等の事業セグメントに帰属しない全社費用は、合理的な基準に基づき各事業セグメントへ配分しております。

第1四半期連結累計期間より、セグメント利益を「営業利益」から「調整後営業利益」へ変更しております。

この変更は、経営者が事業再編等の損益や構造改革費用等の損益を含まない事業活動の成果を反映した「調整後営業利益」が目標達成に向けた進捗管理及び成果を把握することに適していると判断したためであります。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当該変更を反映しております。